

# ぐりぐり

くりやま  
キッズの  
勢いが  
止まらない!

とうもろこしが実る  
中仙道 恰くん畑にて、暑さに負けず  
みんなでポーズ。

## 町の未来を 照らす 元気な光たち。

酷暑が続く7月下旬、栗山町南学田の農園に「すごい子」たちが集まってくれました。すごい子」と一括りにしても、中学一年生〜高校一年生と年齢もジャンルも将来への意識もバラバラ。ファイターズガールになるためにチアダンスをがんばる子、栗山町の未来を見据えて野菜作りに精を出す子、次のインターハイに向けてボクシングの練習に打ち込む子、ジュニアオリンピックの前に水泳に励む子。すでに経歴や成績は輝かしいのですが、この先も地域の垣根をグイグイ越えた活躍を期待できる精鋭ばかり。それほど遠くない未来を担う町の顔として、今回はこの4人に登場してもらいました。

レッスンは、収穫に、トレーニングにとそれぞれ忙しい中集まってもらったのは、夏野菜の収穫シーズンを迎えた中仙道 恰(れん)くんの畑です。4人はほぼ初対面にも関わらず物怖じせずに「ポーズどうしよう」とワイワイ。その表紙撮影の様子を家族の皆さんが温かく見守っていました。

北海道全体としても深刻化している少子化問題。栗山町も例外ではなく年々世帯規模が縮小し、少子高齢化が加速しています。そんな中でも好奇心旺盛に得意を伸ばす子どもたちは、まさに栗山町の誇りであり宝物です。さて、彼らはどんな人物なのか?じっくり話を聞きました。



### 目指せ、ファイターズガール

取材の撮影も、さすがお手のもの！キラキラと目を輝かせる姿は、見る人たちを元気にさせる力がありました。「周りの人を笑顔にできるような、そんなダンサーになりたいんです」と声を弾ませる田中梨暖



（りのん）さん、  
中学生。チ  
アダンス

の世界に足を踏み入れて8年、現在は2つのスクールを掛け持ちしながら夢に向かって突き進んでいます。

『北海道日本ハムファイターズファンのお母さんの影響で、幼少期から球場に訪れていた梨暖さん。アカデミー生のダンスの真似をするうちに、『ファイターズダンスアカデミー』の存在を知り入会。小学4年生の時にはスキルを高めるため競技チアの世界に入り、大会出場を目指すようになりました。』

CHEER DANCE

私のダンスで  
みんなを笑顔に！

今年も目指すは全国大会。「上位に行けるようにがんばります！」

そこで『3年後に絶対に全国大会に出る』という目標をチームで掲げ、それからは厳しさもあり、楽しさもある、本格的なレッスンに励む日々を送っていました。そしてチーム全体のモチベーションが高まった3年目、目標通り全国大会出場を



アカデミー生として球場でパフォーマンスを披露することも。



### 田中梨暖

幼稚園年長からチアダンスを始め、現在は競技チアダンス教室と『ファイターズダンスアカデミー』を両立。チアダンス教室創設3年目の2022年にはリーダーに抜てきされ、念願の全国大会出場を果たす。ファイターズガールを夢見る中学1年生。

「将来はやっぱファイターズガールになりたいですか？」の質問に「なります！」と力強く即答。遠くない未来、日ハムホーム戦でその姿を見る日が楽しみです。

決めました。「達成感はありません！ただ、他のチームのパフォーマンスを見てまだまだだなと」。この向上心、尊敬せずにはいられません。

さらにその年、もう一つうれしい出来事が、『ファイターズダンスアカデミー』内でよりレベルアップを目指す「アドバンスジュニアクラス」に、小学6年生でオーディションに合格！15〜16人しか選ばれない狭き門を突破したのです。輝かしいステップアップの陰には、並々ならぬ努力があったでしょう。

### 狙うは高校ボクシング日本一

BOXING

一見すると、華で打ち合う格闘スポーツ「ボクシング」と対極。穏やかな表情で迎えてくれたのは、中学3年生の亀森茉莉（まつり）さんです。この華奢な体から鋭いジャブ、重いアッパーが？なゼボクシングを？まずは39kg級で見事全国大会優勝を果たした昨年の試合についてお聞きしましょう。



赤コーナーが茉莉さん。戦闘モードの表情が凜々しい。

体力的にきつくても「パンチが当たると楽しい！」と茉莉さん。

『当日のコンディションはともよかったです。なんというか自分がリングを支配している』、そんな感触がありました。並の人間には味わえないその感覚。これまで勝利した試合ではリングに立った途端やる気がみなぎり、「支配」している

気持ちが高まっていたと振り返ります。大会では最後まで自分のスタイルを貫き、1試合目はRSC勝ち、2試合目で5-0の圧勝となりました。

現在も岩見沢のボクシングジムに週3回通い、サーキットトレーニングと基礎練習に没頭。納得のいくフォームになるまで何度でも突き詰めます。そのモチベーションの高さ、集中力の高さに感心しますが、当の本人曰く「ちょっと完璧主義すぎ」。ストイック

得意技は  
ジャブ&アッパー！

な姿勢も課題の一つとして捉えているようです。

茉莉さんの活躍には、周りの人々の存在が大きく影響しています。お兄さんの影響でボクシングを始め、お姉さんの影響でテニス部に入部。今ではお父さんとジムに通い、お母さんのサポートのもと学生と練習を両立。ジムでは徹底指導してくれるコーチが待っています。「優勝した時、コーチが涙を流して喜んでくれて、何度もおめでとうって。それがとてもうれしかったですね」。次の目標はインターハイで日本一になること。その後ボクシングを続けていくかは考え中としつつ「私がオリピックに出ることがコーチの夢みたいなので、叶えたい気持ちもあります」と前向きな気持ちで話してくれました。

### 亀森茉莉

兄に憧れて小学3年生からボクシングを始める。2022年に行われた「全日本UJフレッシュボクシング大会 兼 全日本UJ王座決定戦シード選手決定戦」女子39kg級で優勝し、日本ボクシング連盟の強化選手に。「岩見沢ボクシングクラブ」所属の中学3年生。



Jr. オリンピック全国大会へ

「私、運動神経がすごく悪いんですよ。走るのがとにかく遅いんです」と、意外な話が飛び出した本田一智華（いちか）さん、中学2年生。これまでの経歴とプールで見せてくれた泳ぎを見る限り、そんなことは微塵も感じられません。「幼稚園で初めてプールに入った時、年長さんだったの



得意種目は背泳ぎ。競争相手がいる大会で高タイムを出すことが多い。

下のクラスに入れられたんです。それくらい下手で」。その悔しさがあつたからか、快進撃が始まります。遊びの延長のような形で小学1年生の時に水泳を習い始め、2年生で育成コースに、さらに3年生で選手コースにと着々とステップアップ。

5年生でチームを移籍し6年生でジュニアオリンピックに出場、中学2年生でコーチを追う形で現在の『CANSAY千歳』に所属しました。さて、移籍に動かすほど魅力のあるコーチとはどんな人なのでしょう？「一言で言うとう：鬼ですね、鬼コーチ（笑）。厳しいけど成果が出る。このコーチに教えてもらいたくて移籍した子ども多いです」

その話通り、目前に控えた「第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」に北海道から



SWIMMING

負けず嫌い、だから楽しい!



本田一智華

小学1年生の時に友達に誘われ、習い事として水泳を始める。『スコレ千歳』に在籍していた小学6年生の時に「全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」に出場。2023年4月から『CANSAY千歳』に在籍。週6日で練習に励む、中学2年生。



将来の夢は医者。「人の命を救う仕事に就きたい」と話す。

複数のチームがエントリーしていますが、『CANSAY千歳』からは最大の9名が出場。一智華さんは4×100mのフリーリレーの13〜14歳区分に出場します。「普段得意としているのは背泳ぎなんですけど、リレーのためにクロールの練習をがんばっています。しっかりと決勝に残って表彰台に立ちたいので。平日4

午前と午後2時間ずつの練習三昧。尊敬するコーチの指導のもと、水中と陸上のトレーニングを組み合わせてタイムの向上を目指しています。ここまで打ち込めるのは、水泳が好きだから。「競う楽しさも悔しさもありますけど、努力すれば目標に辿り着ける。そこで得られる達成感が私は好きですね」。

FARMING



未来を耕す若き野菜生産者

「僕、畑で語るタイプなんです。高校1年生とは思えない貫禄を漂わせている中仙道怜（れん）くんは、メロンをはじめ約150種類を栽培する期待の「野菜生産者」。祖父所有の広々とした畑でのびのびと冗舌に、サービスピ精神旺盛に、野菜トークを繰り広げてくれました。「これが赤いスイートコーン、珍しいですよ。大和ルージュっていう品種で、種を譲っていただいたんですよ。通常の黄色もありますが、こっちの方が背が高いから写真映えますか。そしてあつちがオーガニックの畑で...」



まるでツアーガイドのように一つひとつ流ちょうに解説。

新・特産物を、この畑から!

る限り育苗から手掛け、わからないことがあれば他の生産者の元へ足を運んでアドバイスをもらっています。こういった活動が評価され、「北大マルシェアワード2022」で審査員特別賞を受賞。中学生(当時)でありながら、地域を思い、質の高い野菜を作る姿は多くの有識者

者の刺激になりました。次の目標は?「まだまだ先になりますが、いつかお米を作ってみたいなど。でもその前に大好物のメロンを極めたいですね」。栗山町への愛はでっかく、野菜への興味は深く、怜くんの探究心はどこまでも知りません。



遠方の方向けに販売しているカラフルな野菜のセット。

ざっと見渡すと、赤いとうもろこしをはじめ、しま模様のナスや紫色のミニトマト、白いミニぎゅうりなど見たことのない野菜がずらり!さらに北海道では目新しい里芋やこんにゃく芋も見られます。「同じ野菜でも品種によって味が全然違う。そこに面白さを感じた部分もありますけど、一番は栗山町の新しい特産物を作りたいという思いがあるんです。そうなると思いがあって勝算はないといけないです。今の時代、他と同じものを作っても興味を持ってもらえない。だからこそ市場に求められているものの枠を超えて、さまざまな作物に挑戦中なのだとか。でき



中仙道怜

小学4年生の時に「どうやったらミニトマトが甘くなるか」の疑問をきっかけに野菜作りに興味を持つ。未来の農業に取り組んでいる生産者を表彰する「北大マルシェアワード2022」で審査員特別賞を受賞。野菜への探究心旺盛な高校1年生。好きな食べ物はメロン。Instagram @sensuke831



ペット同伴避難ができる場所を目指したいと話すお二人。



新名所、ドッグラン&カフェ

ワンちゃんたちが走る！走る！走る！栗山町湯地に誕生した『DOG RUN seribu(スリブ)』は、2,000坪の広さを持つドッグラン&カフェです。車での往来がしやすい道道30号線沿いに位置し、桜や栗の木が四季折々に美しい表情を見せる癒やしの場所。ワンちゃんたちの様子を見る限り、彼らにとっても楽園のようです。

菅原拓さん、つかささんご夫妻は昨年12月に札幌から移住してきました。オープンの際、ソードが、「僕が転職して消防に携わる仕事をするという夢を叶えたいです。それで次は妻の夢を叶えよう」とと拓さん。



カメラ目線で走り回るトムと、後を必死に追うマックス。



カフェの物件を札幌近郊で探していたところ栗山町空き家バンクで見つけたこの土地にひと目惚れし、「もう、こしかない！」と決断。栗山町の移住者が住宅を取得する時の補助制度を活用することができました。雪解け後に理想のドッグランを目指し、「開拓」をスタート。重機がない中コツコツと手作業で進めていると、なんと話を聞きつけた栗山の消防団仲間が手伝ってくれることに！前オーナーさんも気にかけてくださり、周りの人々の温かいサポートを受けながら初夏の6月、待望のオープンとなりました。

ドッグランは大きく3つの

ゾーンに分かれています。広々とした「フリーエリア」、キャンプもできるように整備中の「丘の上エリア」、そして人気の「小型犬エリア」。「小型犬エリアはドッグランには珍しく傾斜になっていて、運動量の多い小型犬にぴったりなんです」とつかささん。ワンちゃんたちが遊び回った後は、つかささんが入れたコーヒーを広々とした建物でゆったり味わうことができます。「事務的なやり取りだけではなく、ワンちゃんにも飼い主さんにも寄り添っていききたいですね。お客さん同士のコミュニケーションも楽しめる場になるといいなと思っています」。

DOG RUN seribu(スリブ)

〒069-1508 栗山町湯地59-308  
TEL 080-9610-3501  
営業時間 10:00~18:00  
定休日 水曜日・木曜日  
Instagram @dogrun\_seribu



くりエイトズマーケットから。

『くりやまくりエイトズマーケット』は、2017年9月にオープンした栗山町が運営するハンドメイド雑貨店。当初は「何の店なのか分からない...」「ちょっと入りにくい...」などの声がありました。今では町内外から人々が訪れるスポットになりました。

これまでの参加くりエイトは計76名で、7年目となる2023年度は新たな6組を含む26組が出展。マーケットでは作家さんたちが交代で店番を担当しています。栗山町にちなんだ作品はもちろん、各作家の個性が光る雑貨や器、アクセサリーなどがあります。

また、マーケットでは気軽に「くりエイト」できるワークショップも開催。作家さんに直接教えてもらいながら、オリジナルの作品作りを楽しめます。せっけんを彫刻するソーパークビングや、陶芸、ステンドグラス、レジンを使った小物作りなど、体験内容もさまざま。日程は公式SNSや店内カレンダーで確認できますので、ぜひご参加ください！

クセサリーは新しい栗山のお土産として注目。年末年始を除いてほぼ毎日営業しているので、いつでもふらっと立ち寄れます。



せっけんの香りに癒やされながら、黙々と彫刻刀を入れていきます。



小さな瓶に自分の好きな色の花を詰めて、ハーバリウムに。



好きなパーツを選んで、レジンでオリジナルのキーホルダー作り。



くりやまくりエイトズマーケット(不定期営業)

〒069-1511 栗山町中央3-6(栗山駅から徒歩1分)  
営業時間 11:00~17:00

営業状況や、店番のくりエイトはこちらをチェック！

くりやまくりエイトズマーケット

読者プレゼント

本誌についてのアンケートにご協力ください。お答えいただいた方の中から抽選で5名様に、『くりやまくりエイトズマーケット』で選んだとおきの作品を、詰め合わせてプレゼントいたします。

■回答期限 2024年1月9日(火)まで



※写真は一例です。

アンケートはこちら→  
<https://www.harplg.jp/wZdsCor>



本誌について、くりやま若者シティプロモーションについてのお問い合わせ

栗山町若者定住推進課

TEL 0123-73-7521  
FAX 0123-72-3179



くりやまほっとらいふ



くりエイトするまち



KURIYAMA TOWN